

春風に吹き出し笑う花もがな
松尾 芭蕉

久が原地区 管内	人口	13,181人
	男	13,641人
	女	26,822人
	計	12,302世帯

平成24年3月1日現在

くがはら

発行：地域力推進

久が原地区「くがはら」委員会
編集：地域情報紙「くがはら」編集委員会

事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085 大田区久が原4-12-10

TEL (3752) 4271

FAX (3752) 4514

題字：三木兼吉



久が原地区の子育て支援施設 自ら学び、笑顔で、目の輝く子に

フレンドリー久原 実方 満和子

フレンドリー久原は、小学一年生から三年生までの久原小学校に在籍する児童が利用できる学童保育施設です。久原小学校内の教室をお借りして、日々活動しています。

子どもたちは学校が終わると、「ただいま」と言ってお帰りに帰ってきます。宿題をして、おやつをみんなで食べたりと、一日の生活の流れに沿って友だちとともに過ごします。子どもは、自分たちで遊びを選び、遊んでいます。サッカーや一輪車が根強い人気です。全員でゲームをすることもあります。

また、子どもたちの生活が充実するよう、様々な行事を計画し実施しています。工作をしたり、保護者も参加してお祭りを開催したり、ゲーム大会やスポーツ教室なども行っています。長期休業日や振替休業日も、学校内で朝から活動しています。日々の活動の中で、いろいろなことを学

びながら過ごしています。毎週土曜日は、久が原児童館で合同保育を行っていただきます。平日も、児童館行事に参加するなど、児童館との交流も盛んです。これからも、子どもたちが伸び伸びと過ごせる環境を作りたいと思います。

久が原児童館の 学童保育 久が原児童館 安藤 桂子

久が原児童館は、久が原光児童公園の隣にあります。

学童保育室の他に遊戯室、工作室、図書室があります。

午前中は乳幼児の活動を行っています。小学生が帰ってくるまで、自由に各部屋を使うことができます。午後は地域の子どもたちが自由に来館します。学童保育に登録している児童は、学校からランドセルのまま「帰って」きます。

今の時期はコマ教室や工作教室、おはなし会などの児童館の行事に、学童保育児も一

緒に参加しています。又、学童保育児だけで公園に出たり、ゲームをしたりすることもあります。おやつの集まりと帰りの会は、学童保育室で行っています。

フレンドリー久原は、同じ館長が所管しています。お互いの行事の時や土曜日などに合同保育を行っています。

松仙おおたつ子 ひろば 南雲谷児童館 館長 矢部 みゆき

おおたつ子ひろばは、平成二十二年四月にスタートした新しい施設です。元は大田区立幼稚園があつた建物を活用し区内に六箇所オープンしました。羽田・萩中・西六郷・新宿・梅田・松仙とすべて各小学校の敷地内につくられました。

おおたつ子ひろばの特徴は、その小学校の一年生から六年生が利用できるという点です。自由に遊びに来ることが出来る一般来館と、保護者が就労しているお子様を一年生から三年生までお預かりする学童保育の二通りの利用があります。また地域の皆様に児童館と同様に乳幼児親子集いのひろばとして開放しております。○歳から六年生まで利用できる子育て支援施設として三年目を迎えることができました。

おおたつ子ひろばでは、日常生活として、園庭での外遊び、遊戯室でのドッジボール、多目的室での工作活動など一般利用・学童保育利用の区別無く遊びを提供しています。毎月誕生会では、皆で友達を祝い、ゲーム大会等行っています。

ぜひ、お祭り等の機会を通じていらしてください。

地域福祉の一助として 「ひとり暮らし高齢者」 の登録 久が原地区民生児童委員 会長 醍醐 精一

近年、急速な少子高齢化、核家族化、地域におけるつながりの希薄化などに伴う社会環境の変化も重なり、地域の中でひとりで暮らす高齢者が増えています。ご高齢の方は、今まで生活し慣れ親しんだ地域で、「いつまでも、安心して暮らし続ける」ことは、誰もが願うことでしょう。

平成十二年から地域において、見守り等の福祉サービスを受けられるよう、ひとり暮らし高齢者の生活実態を把握した上で、選定基準に従い登録する制度が始まりました。

当初は、手探りで調査でしたが、その後は住民台帳からのリストに基づき調査をし、希望の方のみ登録しています。年齢は、六十五歳から

ご存知ですか？

もう一つの 多羅葉の木

四年前にご紹介しました通称「葉書の木」です。葉の裏側に竹串や楊枝・枝などで傷をつけると葉が黒く変色して字を書くことが出来ます。

前回は三丁目のとあるお宅の庭の木を拝見し、お家の方が「一度も花を見たことがないので雄の木だ」と言われていました。その後わずか二百メートル程離れた道沿いの不動産会社の庭に雌の木があることが分かりました。昨年の暮れあたりから葉の

ですが、お元気の方も多く、「とんでもない、まだまだ他人様の世話などは受けたくない!」などお叱りをいただくことも多いようです。

一方では、「よく来ていただきました。今後、よろしくお願ひします。」と過大な期待を丁寧にお願いされることもあり、会合では様々な感想が寄せられました。

開始当初は、大田区全体として約九千名、現在は約一万五千名で久が原地区は約四百五十名の方が登録されています。昔は、「向こう三軒両隣」などといわれ、そこには、お互いに助け合いながらの日常生活があり、ひとり暮らしとは無縁でした。

これからは、地域社会と関わり合いをもてるよう、地域全体で支え合う体制と一声掛けなどの行動がより大切なことと思います。

また、民生委員児童委員も担当地域にこだわらず、情報を共有し、見守りを強化し、地域福祉の一助とするため努力したいと思います。

つけねにびっしりとなった赤い実が見られ、春先には緑黄色の小花が咲きそうです。

(富田 永美)



イベント情報

- 道々橋自治会定時総会
【日時】4月21日(土)午後6時～
【場所】道々橋八幡神社社務所
- 子どもガーデンパーティー
【日時】4月22日(日)午前10時～
【場所】洗足池公園
- 久が原西自治会定期総会
【日時】4月25日(水)午後7時～
【場所】久が原会館
- 久が原東自治会定期総会
【日時】5月9日(水)午後7時～
【場所】久が原東部八幡神社社務所
- 久が原南自治会定期総会
【日時】5月13日(日)午前10時～
【場所】久が原南自治会館

問合せ先 (3752) 4271
久が原特別出張所

〈連載〉香川の春 桜並木とカルガモ

香川の会 高橋 光夫

★香川は桜の名所

香川の春は桜の開花とともにやってくる。川沿いは「香川緑道軸構想」で早くから「公園」と「桜並木」が整備されてきました。皆さんは香川の源流域まで行ったことがあるでしょうか？

久が原地域からは上流側へさかのぼって約二キロメートル、ほぼ三〇分で東京工業大学脇の「香川本流緑道」に着きます。

そこからさらに三キロメートル、世田谷区桜新町の香川源流までは長大な桜並木が切れること無く続き、沢山の人が賑わいます。

★どんどん増える桜並木

「えっ、自分の家のそばには桜並木なんて無い」と言われる方も多いでしょう。

でも香川沿いを注意深く歩いてみましょう。まだ植えたばかりの幼木で気がつかない方も多いのですが、沢山の桜並木が新しく出来ているのです。

新しい桜並木は、同時にアイビー(別名ヘデラ)の緑のカーテンが香川に垂れ下がる

ように植栽され、まもなくフランスのセーヌ川のようになるでしょう。楽しみです。ね。

★カルガモの子育て

冬の終わりに繁殖のために他の場所に移ったカルガモたちも、子どもが産まれて手狭になり、春も半ばには香川に戻ってきます。

その時には沢山の子どもを連れて…。

親のそばを離れないで一生懸命付いていく子ガモの姿はなんとも愛らしく、がんばれよと応援したくなります。

桜とともに香川の風物詩です。

みんなが住みよいまち ユニバーサルデザイン的 考え方のススメ

【やさしさが広がりたいものが安心して快適に過ごせるまち】をめざして大田区では昨年より十年計画で取り組みを始めました。これまでのバリアフリーからさらに広い視野でまちづくりをとらえています。「ユニバーサルデザイン」の考え方―障害の有無、年齢、国籍などに関わりなく多様な人々が利用しやすいように考えて都市や生活環境をデザインすること―が必要になってきています。近くで困っている



る人がいる場合、まずそれに気がつくこと、「何かお手伝いすることはありますか?」と声をかけること、自分に何ができるかを考えて行動に移すことなど、身近なところからも実践していけそうです。

詳しくはアシスト(手助け)ブックなどがあります。
(富田 永美)

ユニバーサルデザインの七原則

- ① 公平な使用への配慮
- ② 使用における柔軟性の確保
- ③ 簡単で明解な使用法の追求
- ④ あらゆる知覚による情報への配慮
- ⑤ 事故の防止と誤作動への受容
- ⑥ 身体的負担の軽減
- ⑦ 使いやすい使用空間(大きさ・広さ)と条件の確保



久が原の人シリーズ²⁸

「妻須彌子を偲んで」 メッセージベンチ を送った 松田慶三さん



久が原生まれ、久が原育ちの松田さんは、学校卒業後、東京都に奉職し、行政の立場から戦後の復興・発展期に地域住民の皆さんのため尽力してきました。

都職員を退職後は、久が原西自治会役員として、また平成十九年から平成二十年まで

介護者サロン虹

「虹の部屋」がオープン 泉 和代

一年半前、介護なさっている方々のお役に立ちたいとの思いから「さわやかサポート久が原」「久が原特別出張所」の応援を頂き、毎月第四木曜日に出張所集会室で始まった「介護者サロン虹」。毎回、三十名以上の参加があり、小グループに分かれて経験談など聞き合うことから、高齢者に役立つ講演(経済、法律、健康等)、コンサート、落語会など開催してきました。また体力維持、地域の方々との交流をめざし、新井信子先生のご指導で月三回、太極拳教室も行っています。



久が原地区自治会連合会長として、住みやすい久が原の実現のために奔走してきました。松田さんは、昭和三十五(一九六〇)年、須彌子さんと結婚し、三人のお子さんに恵まれ、縁の多い久が原地区で子育てをすることができました。残念ながら、須彌子さんは平成二十二(二〇〇九)年、帰らぬ人となってしまいました。

松田さんは、昨年、大田区にメッセージベンチ設置制度があることを知り、寄贈することにしました。これは、結婚・出産・スポーツ大会優勝など記念になるメッセージや、寄付者名を記念プレートにして付けたベンチのことです。

寄贈の動機は、妻須彌子さんといっしょに、東調布公園のプールに幼い子どもたちをよく連れてきたことがあり、その思い出を刻んでおきたいと思ったことです。昨年十二月十三日、東調布

公園で、松原区長臨席のもとメッセージベンチ第一号の除幕式が行われ、ご子息やお孫さんも参加しました。メッセージは「妻須彌子を偲んで」。松田さんは、妻須彌子さんの名を刻んだベンチのそばで、地域子どもたちが元気に遊ぶ姿を見てとても喜んでいきます。

(雀木 大熊)



いらつしやるお一人暮らしの方々と共に年代を超えて支え合い、寄り添い合い、知恵をおかりして、楽しい情報、生活情報が得られるような場にと計画中です。

「久が原の昭和」資料 募集中

昭和時代の久が原のよつすを後世に伝えるために皆様の写真等資料を募集しています。

編集後記

東大などが世界の潮流にあわせ九月入学に変更を計画しています。慣習がその波に呑み込まれ、やがて消えてしまいそうな気がします。でも、日本は日本、四月は新生活の始まりです。頑張りましょう。
(小倉 敦司)